

## 宿根かすみそうの収穫・出荷開始

【平成 30 年 6 月 15 日掲載】

安芸高田市の(株)ヒロマサ（代表 廣政公一氏 ひろまさ こういち）では、今年から宿根かすみそうの栽培を始めており、6月 11 日に初出荷を迎えました。

同社は、平成 29 年に設立され、水稻を中心に経営していますが、年間を通した雇用を確保するため、宿根かすみそうを導入しました。栽培面積は 13a で、ハウス3棟に約 3,600 株を植付けています。安芸高田市で長く宿根かすみそう生産に取り組んできた先輩農家の指導を受けつつ、6月～翌年の春まで出荷が続く予定です。

県内の(株)花満へ初出荷された宿根かすみそうは、花姿が良くボリュームもあることから高く評価されるとともに、広島県内産の高品質な宿根かすみそうの供給元として、今後の出荷継続を非常に期待されています。廣政氏は、「品質に気を遣って、大切に育てている。(株)ヒロマサの宿根かすみそうをもっと多くの方々に知ってほしい。」と力強く言われています。

当所は、(株)ヒロマサの安定した宿根かすみそうの生産・出荷に向けた取組を、(株)ヒロマサの皆さんや関係者と連携して進めていきます。



“(株)ヒロマサの皆さん（左；廣政氏）”



“収穫前の“宿根かすみそう”

情報提供元

西部農業技術指導所